

講演：生産者による「食育」の意義と課題

河合 知子

とき：2010年3月10日午前10時～11時30分

ばしょ：農事組合法人「伊賀の里モクモク手づくりファーム」

### 【講演要旨】

はじめに

#### I 私が「食育」を警戒する理由

1. 「食育」研究の浅薄さ
2. 「食育」に潜む「食育ビジネス」と「食育利権」
3. 食べ物を選ぶ力がそんなに大事なのか
4. 学問的根拠の弱さ・無さ

#### II 政権交代と「食育」ブームの動向

1. 政権交代後の「食育」  
日本型食生活推進事業の内容  
事業仕分けで明らかになった「食育」天下り団体
2. 「食育」ブームをチャンスに  
事例：朝食提供の地方自治体  
事例：「弁当の日」の実践

#### III 生産者が発信する「食育」の意味

1. 生産実態を消費者に知らせる
2. 「ごまかさない」食べものを消費者に提供する
3. 生産者の生活を消費者と共感する

まとめ

1. 地産地消を金科玉条にしない  
・キーワードは生活
2. 生産者と消費者の相互理解  
・料理を作る、農産物を作ってみる実体験の効果
3. 感性よりも知性  
・「甘い言葉」は、ほどほどに